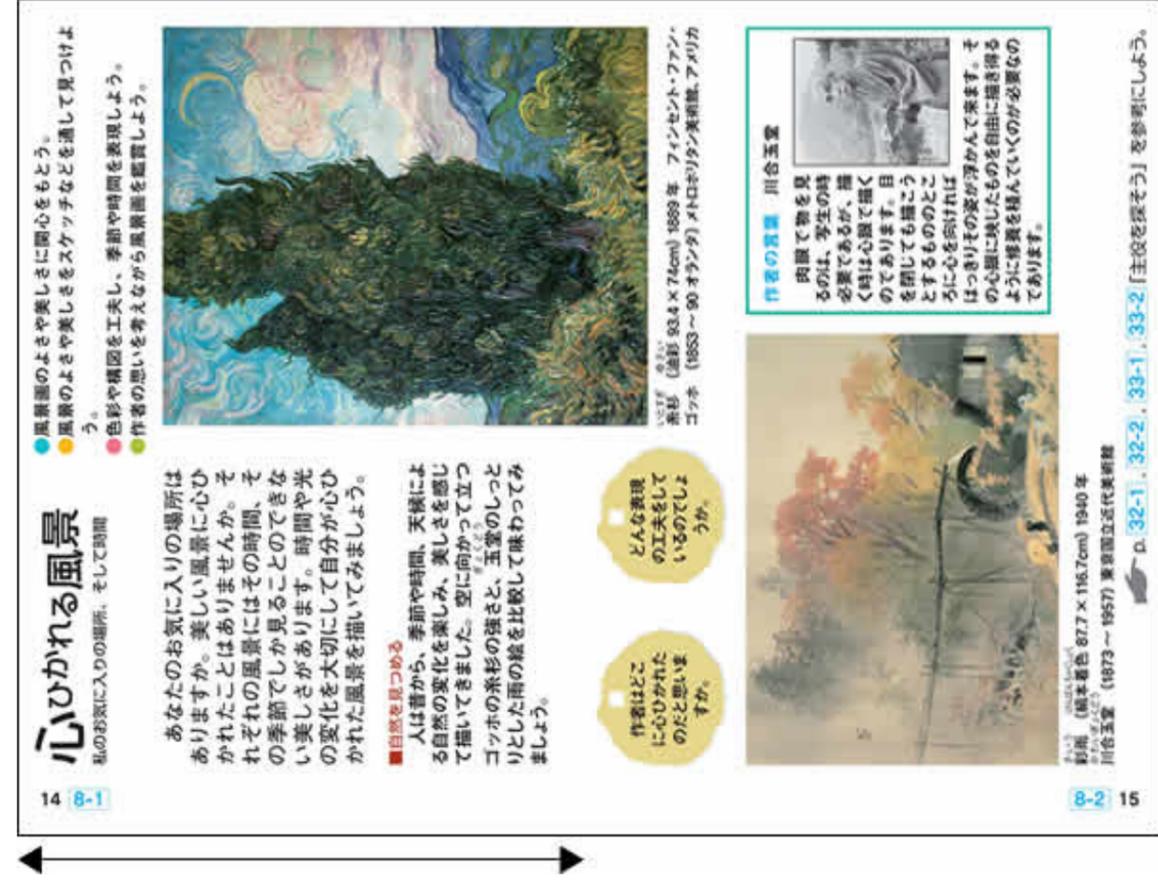


<教科書の見開きイメージ>

サンプルページは2ページずつの見開きになっています。

1ページの大きさはA4です。



(A4 サイズ)

美術 1

拡大版
【22P】



開隆堂

心ひかれる風景

私のお気に入りの場所、そして時間

あなたのお気に入りの場所はありますか。美しい風景に心ひかれたことはありませんか。それぞれの風景にはその時間、その季節でしか見ることのできな美しいがあります。時間や光の変化を大切にしながら自分がかかれた風景を描いてみましょう。

■自然を見つめる

人は昔から、季節や時間、天候による自然の変化を楽しみ、美しさを感じて描いてきました。空に向か^{ぎよくどう}って立つゴッホの糸杉の強さと、玉堂のしっとりとした雨の絵を比較して味わってみましょう。

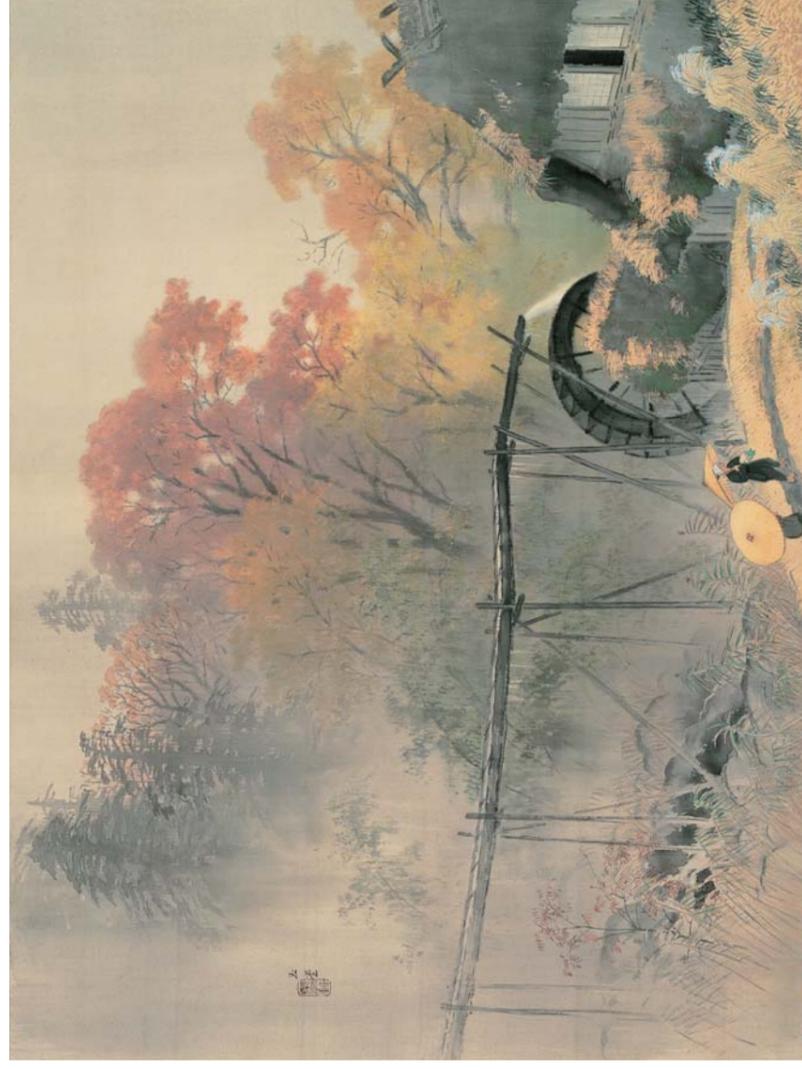
- 風景画のよさや美しさに関心をもとう。
- 風景のよさや美しさをスケッチなどを通して見つけよう。
- 色彩や構図を工夫し、季節や時間を表現しよう。
- 作者の思いを考えながら風景画を鑑賞しよう。



いとすぎ ゆざい
糸杉 (油彩 93.4 × 74cm) 1889年 フィンセント・ファン・ゴッホ (1853～90 オランダ) メトロポリタン美術館、アメリカ

作者はどこに心ひかれたのだと思いますか。

どんな表現の工夫をしているのでしょうか。



さいう けんぼんちやくしよく
彩雨 (絹本着色 87.7 × 116.7cm) 1940年
川合玉堂 (1873～1957) 東京国立近代美術館

作者の言葉 川合玉堂

肉眼で物を見るのは、写生の時は必要であるが、描く時は心眼で描くのであります。目を閉じても描こうとするものところに心を向ければはつきりその姿が浮かんで来ます。その心眼に映じたものを自由に描き得るように修養を積んでいくのが必要なのであります。



■新たな美しさを発見する

見上げたり、見下ろしたり、部分をクローズアップしたりして、視点を変えてみましょう。どんな発見ができるのでしょうか。



木の葉の緑と空の色の対比が美しい。



葉の間から見える空の形が複雑でおもしろい。



水たまりに映る空と、木の枝の形がおもしろい。



車輪の並び方が規則的で美しい。

木の幹が、堂々としていて力強い。



■色を見つける

自然にはたくさんの美しい色があります。それらを意識して発見して

みましょう。ここでは、発見した色彩を中心に、形にこだわらずに、のびのびとスケッチしてみましょう。



見上げた木 (水彩 20 × 14cm)
生徒作品



小金井公園の広場 (水彩 11 × 16cm)
生徒作品



小さな紙に何枚もかこう

交通に注意して。



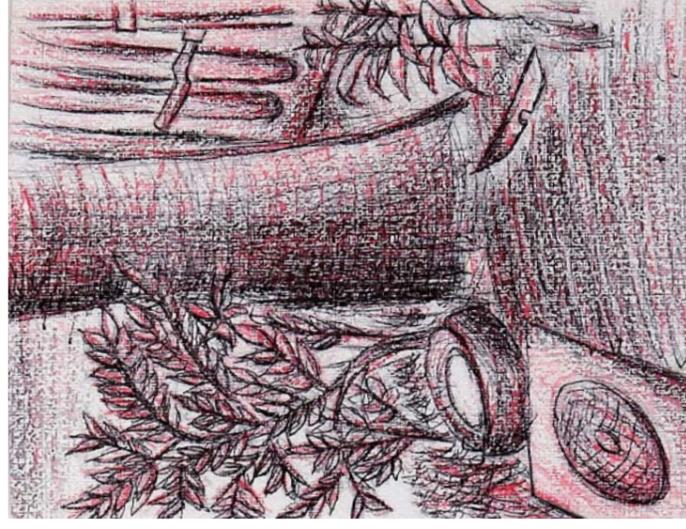
曲がりかけの道路 (水彩 20 × 14cm)
生徒作品

■好きな場所を紹介する

自分のお気に入りの風景を
選んで、スケッチや写真でみ
んなに紹介してみましょう。



スケッチ (鉛筆 20 × 14cm)
生徒作品

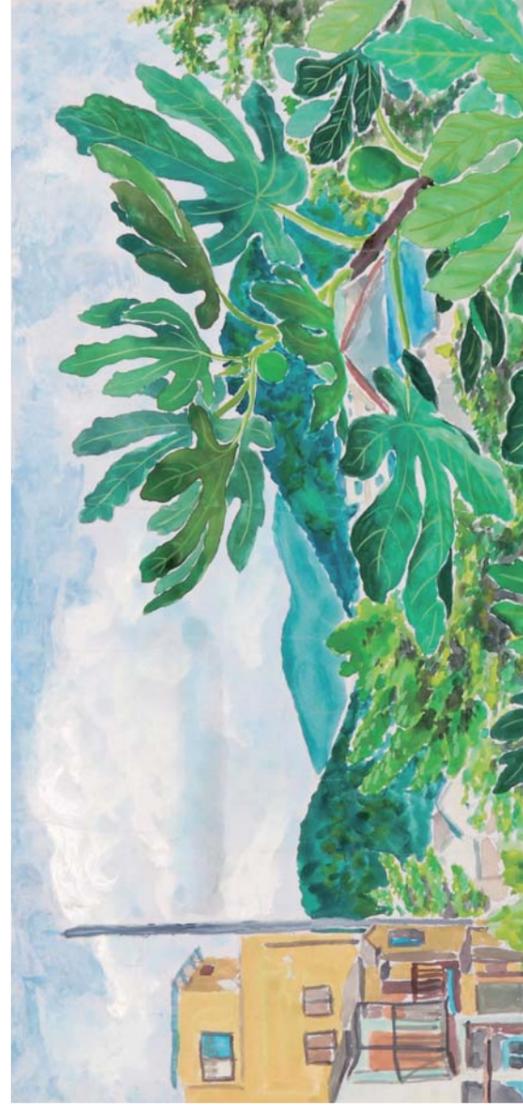


スケッチ (色鉛筆 18 × 12cm)
生徒作品

■構図を工夫する

風景の心ひかれるところを

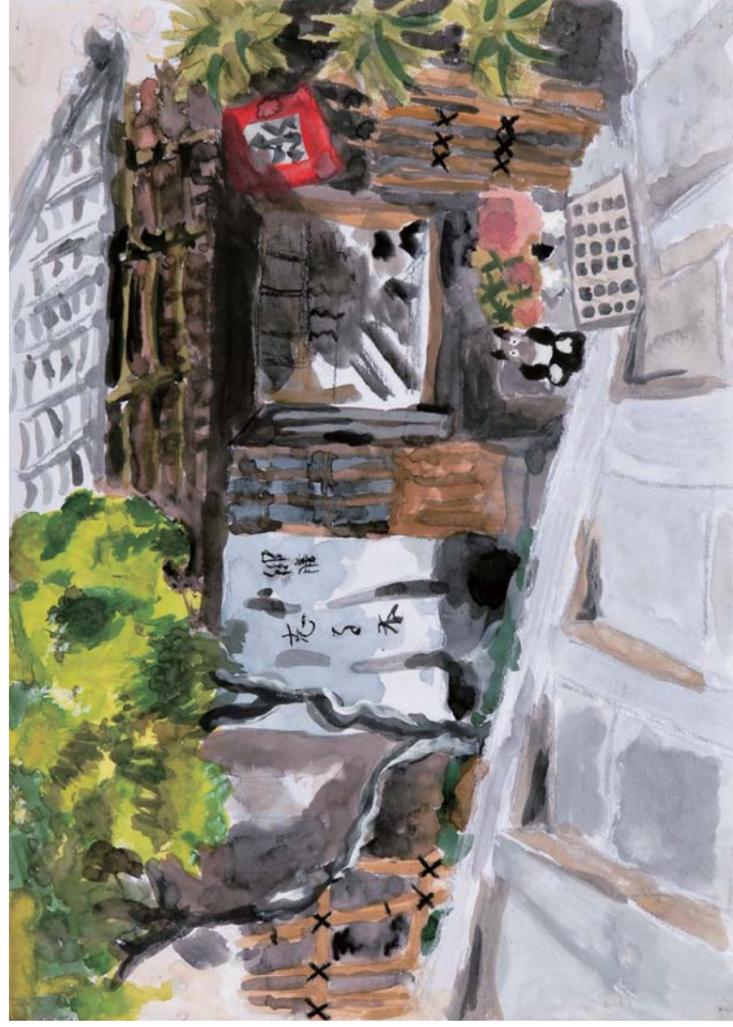
切り取り、構図を工夫して表
現しましょう。



夏の緑 (水彩 38 × 54cm) 生徒作品
「イチジクの葉を大きく描き、美しい自然の緑色を強調しまし
た。」(作者)



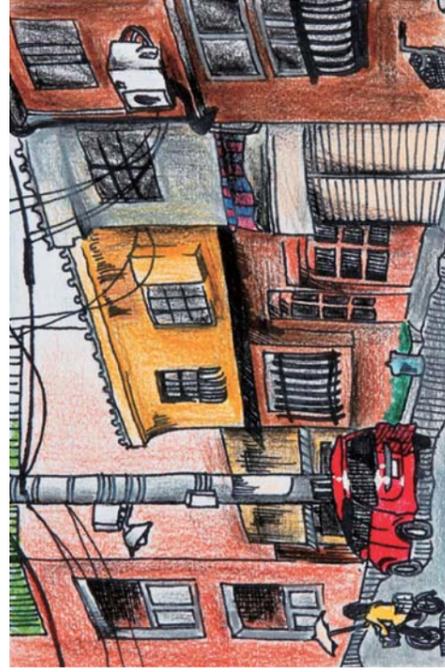
タンポポ (水彩 54 × 38cm) 生徒作
品 「タンポポとまわりの草を対比さ
せて描きました。」(作者)



石段の風景 (水彩 38 × 54cm) 生徒作品 斜めに走る階段と垂
直に立つ建物を組み合わせる構図の工夫をしている。

■奥行きを表す

遠くのものや近くのもの、
違って見えるのはなぜでしょう
か。大きさ、傾き、色の違い
などを観察して奥行きを表現し
てみましょう。



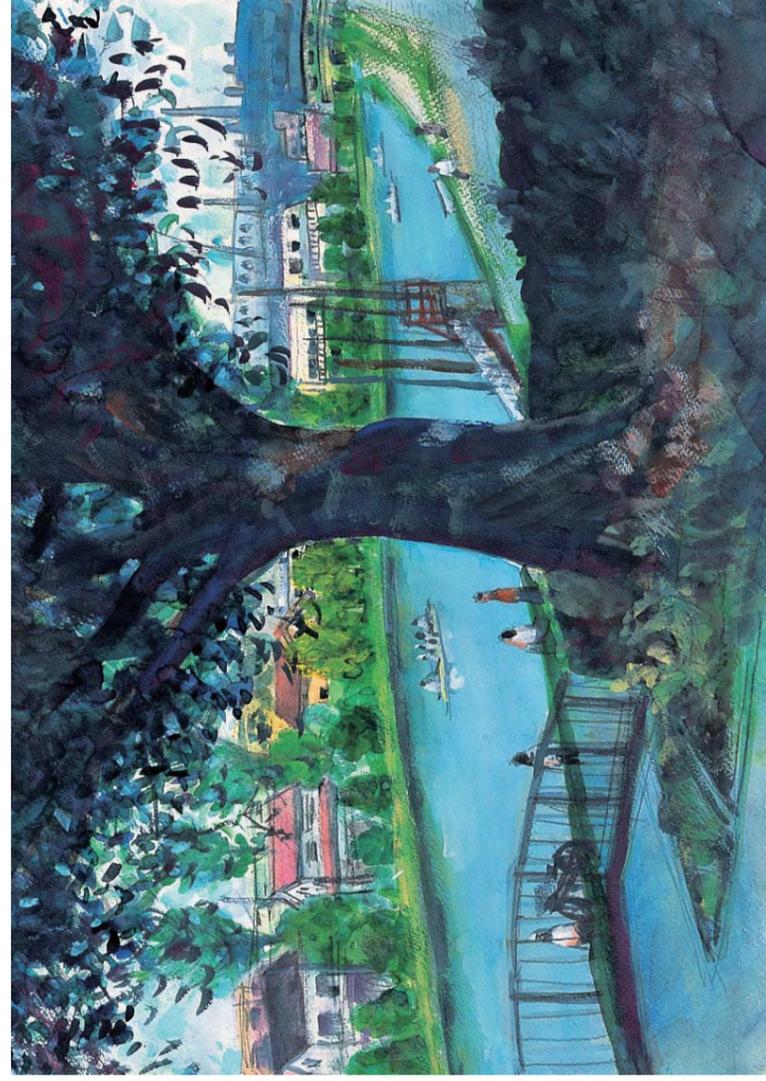
街の風景（色鉛筆、水性ペン 10 × 15cm）
生徒作品

■季節を感じて

時間や季節によって光のあ
たり方が変わり、同じ場所でも
違って見えてきます。光と
影のそれぞれの特徴をよく観



わが町高島（水彩 10 × 27cm）生徒作品
「手前の木を大きく、遠くの山を小さく描きました。」（作者）



夏のポートコース（水彩 37 × 54cm）生徒作品
大きな木の影が、昼間の強い光を感じさせる。

察して描いてみましょう。



裏庭の老木（水彩 36 × 53cm）生徒作品 春の暖かい光の感じを、枝の明るさや
地面の影をよく観察して表現している。

◎心ひかれた風景のよさや美しさを楽しく描きましたか。

●美術—驚き・発見



絵本と木の葉の美術館 (流木、木の葉、泥絵の具) 2009年
 鉢 & 田島 征三
 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ、新潟県
 廃校になった小学校の最後の子どもたちを主人公にしたお話が、教室や体育館
 などの空間を使って、立体絵本として表現されています。
 写真/宮本武典+瀬野広美



ジャイアント・トラヤんの冒険 (鉄、機械部品など 高さ720cm) 2005年
 ヤノベケンジ (1965~)
 2009年、東京都港区でのイベント風景
 機械彫刻「ジャイアント・トラヤん」は、未来を担う子どもたちや子どもたちを
 育てる大人たちへの平和と再生のメッセージです。
 写真/大場美和

《表紙》茶室 徹 (高さ380cm) 2005年
 藤森照信 (1946~) 清春白樺美術館、山梨県
 楽しい彫刻作品のように感じられるツリーハウスで、中は茶室になっ
 ています。建物を支える大木は、隣接する清春芸術村に植えられて
 いた樹齢80年の榎です。
 写真/木戸純一

中 美術1 (美術721)

拡大版【22p】

■著作者

日本造形教育研究会
 監修 藤澤英昭 柴田和豊
 代表 大坪圭輔
 編集・校閲
 伊藤文彦 蝦名敦子 小池研二 小澤功
 佐々有生 菅生均 長瀬達也 新関伸也
 平川晋吾 三澤一実 水野谷憲郎
 村上タカシ 村瀬千櫻 村田利裕
 吉井宏 吉岡正人
 開隆堂出版株式会社編集部

■編集協力

一條彰子 神野真吾 西尾隆一

■発行者

開隆堂出版株式会社
 東京都文京区向丘1丁目13番1号
 代表者 山岸忠雄

■発行所

開隆堂出版株式会社
 東京都文京区向丘1丁目13番1号
 電話 03-5684-6114 (供給)
 03-5684-6117 (編集)
<http://www.kairyudo.co.jp>

■表紙・本文デザイン

アトリエ・シーレ

■撮影

縣数也 川部いちろう 清水征善
 高橋浩 野本和利 橋本拓弥 堀江洋香

■図版

大管雅晴

■写真協力

アカリセンター アフロ 尼崎市総合文化センター
 イメージナビ 小川忠博 玉堂美術館 コービス 小
 山登美夫ギャラリー JTBフォト スカンジナビアリ
 ビング スタジオヤマト DNPアートコミュニケ
 ションス DNP文化振興財団 ドーンデザイン研究所
 西村画廊 藤原照康刃物工芸 毎日新聞社 ワンダー
 アートプロダクション

この教科書は、これからの日本を担う
 皆さんへの期待をこめ、税金によって
 無償で支給されています。大切に使い
 ましょう。

1 年 組